

2024 年 12 月 10 日
第一工業製薬株式会社

2025 年 3 月期中間期決算説明会 主な質疑応答

(開催日：2024 年 12 月 3 日 場所：当社東京本社セミナールーム(リアル&WEB 配信))

Q1：ハイエンドサーバー向け製品に関し、その具体的な用途などを教示されたい。

A1：現時点、用途はハイエンドサーバー向けとのみ開示している。次世代品も販売には至っていないが、開発は着実に進捗している。異なる用途への展開も併せて推進中である。

Q2：上期から下期にかけての伸長は、どの程度を見込んでいるか。

A2：電子材料関連製品であるため、下期の数値は非常に保守的に見込んでいる。需要予測によれば、旺盛な需要が継続しており、増産体制を構築しなければ 2025 年以降の需要に対応できない状況にある。第 1 期増産工事は完了しており、来期以降、第 2 期増産工事を開始する予定である。

Q3：来年度の増益が期待される事業について教示されたい。

A3：半導体向け洗浄剤は、当期下期より徐々に増加傾向にあり、来期以降の伸長が期待される。また、エイムフレックスについても、自動車関連分野の販売が好調であることから、東南アジア向け販売の拡大を見込んでいる。

Q4：PBR が 1 倍を割れる状況にあるが、今後の資本コストを意識した経営の方向性について教示されたい。

A4：PBR に関しては、20 年前より経営課題として認識している。PBR1.0 倍に満足することなく、更なる向上を目指す所存である。

Q5：ライフサイエンス事業は、過去 5 年間で 40 億円近い赤字を計上している。光硬化性樹脂材料事業が利益を創出する一方、ライフサイエンス事業がその利益を相殺している状況にあるが、今後の事業方針について教示されたい。

A5：あらゆる可能性を検討している。まずは BtoB 事業を確実に推進し、売上を拡大することが必要であると認識している。

以上